

町会活動にみんなで参加し 絆を強くさらに住みよい町会に！

年頭挨拶



大旦町会
会長 大槻 研司

新年明けましておめでと
うございます。

昨年10月、岡山地区民大運動会が例年通り開催されました。優勝を目指す体育部長は、「会長、やさしいリレーに出てくださいな」と。嫌な予感がしたものの、立場上断り切れなかったのが悲劇の始まり。当日、小学校の校庭は十町会のテントが張り巡らされていました。大旦町会のテントには、出場種目のオーダーが貼られていて、何と最終種目「町会対抗リレー」のアンカーが私の名前に

なっているではありませんせんか。小学生の女子、男子の順で、中学生、高校生、二十代・・・最後が五十代。私は七十歳です。五十代との競争は悲劇でした。
余裕だよ／後ろ振り向き／まだある差／ゴール寸前／青息吐息！
本年もよろしくお願ひ申し上げます。



以上が私の今年の年賀状です。ところで、最近「町内会」という本を読みました。それによると、町会のもつ基本的な機能には「共同防衛」があり、災害や外敵の侵入、内的な秩序破壊に対して備える機能だということです。人々が安心して生活協力の機能を営むためにはどうすべきか、町会の皆様のご協力の下、一つひとつ対策を講じていきたいと思っています。

立派な門松で 新年を迎えよう

一月二十八日、町会と愛宕神社氏子会が共同で立派な門松を、愛宕神社と集会所にそれぞれ一対ずつ飾りつけ、新年を迎える準備が整いました。
今回も第五班の尾形

多門さんから、太く長い青竹、真つ赤な実がたわわに付いている南天、生き生きした大きな松等の提供を頂き、感謝申し上げます。毎回作り方を示す受けるのですが、一年が経つとすっかり忘れてしまい、なかなか覚えられないのが実情のようです。



【愛宕神社と集会所に立派な門松を設置し、新しい年の準備が整う】

第三回定例役員会開く

十二月八日、第三回定例役員会を開き、大槻会長から秋祭りや運動会参加への御礼と、自治振興協議会へ提出した要求の回答について説明がありました。続いて班長・役員合同会議や、令和七年度の総会を二月九



日に開催すること、また、新班長・役員合同会議については二月二十四日に開催することを決め、別途案内文書を配布することとしました。
その他、総会資料作成の分担を決めました。

この日は寒さをものともせず、愛宕神社と集会所周辺の清掃にも精を出し、さわやかな気持ちで正月を迎えられそうです。
参加された皆さんは、来年こそは穏やかな年になることを願ひ「良いお年を」と挨拶を交わして解散しました。年末の忙しい時期に大変ご苦勞様でした

只今インフルエンザ感染が流行しています。手洗い・うがいを励行しましょう！

班長・役員合同会議開く

今後の主な事業について協議

十二月十五日、班長・役員合同会議を開き、二月九日に開催する令和七年度総会について、意思統一を行い、スムーズな総会運営について協力をお願いしました。

また、①十二月二十八日開催の大旦集会所及び愛宕神社、桜土手の清掃と門松の作製と設置を行うこと、②一月十五日に正月飾りをあぶくまクリーンセンターへ搬入すること、③二月二十四日開催の新班長・役員合同会議について周知を図りました。



バトミントン大会個人混合ダブルスで準優勝

十一月三日、第36回岡山地バドミントン大会が開かれました。団体戦では初戦で敗退しましたが、個人戦混合ダブルスで立川猛史・渡辺愛ペアが、見事準優勝しました。



【奮闘した大旦チーム選手の皆さん】

卓球大会個人混合ダブルスで第三位入賞

十二月一日、第43回岡山地卓球大会が開かれ、初戦で敗退しましたが、個人混合ダブルスで斎藤淳史・渡辺愛ペアが、第三位に入賞しました。応援有難うございました。



桜土手の柿収穫作業

十一月十日、桜土手に植栽されている柿の実が収穫時期を迎え、町会役員と桜土手の会が協力して収穫しました。今年は実の数が少ないため、需要に応じられるかどうか心配でしたが、何とか間に合わせる事が出来、ご協力に感謝申し上げます。益金は有効に使わせて頂きます。



クリスマス会 大いに楽しむ



12月21日健全育成部主催の子どもクリスマス会を開いた。40名を超える子ども達が参加し、大槻町会長と子どもを見守る会の斎藤会長が挨拶し、「大旦さくら会」の協力でスカットボールゲームを行い、続くビンゴゲームで大いに盛り上がりました。冬休みを前にして楽しいひと時を過ごしました。



コラム

元日の思い出



元日になると小学生の頃を思い出す。元日には学校へ登校し、校長先生の年頭のあいさつと、担任先生の話を聞くことになっていた。帰る時には大きなミカンを二個頂いて下校する。講堂で歌った曲は今でもちゃんと歌える。

♪年の初めの例(ためし)とて

終なき世のめでたさを

松竹たてて 門ごとに

祝う今日こそ 楽しけれ♪

下校時に友達と歩きながら

♪松竹でんぐり返して大騒ぎ♪

なんて替え歌を歌いながら意気揚々と帰ったことが、懐かしく蘇ってくる。

『生きがい』を持つ

昨年暮れのNHKTVで「百人の百歳に訊く」があり、健康で長生きの秘訣は？との問いに対して『生きがいを持つて好きな事を一生懸命やっていることだ』とはっとするような答えが帰ってきた。

果たして、自分も真似ができるか！

また「限界集落」のドキュメンタリー放送では「悲壮感を持たず、お互いに助け合って暮らしている」という言葉に、限界であってもなくても「助け合って生きる」ということは、少しずつ薄れてきている現在の社会に、一石を投じるものではないかと思った。

今年も「コラム」欄の執筆をさせて頂きますので、ついでに目を通して頂ければ幸いです。

【斎藤 馨】